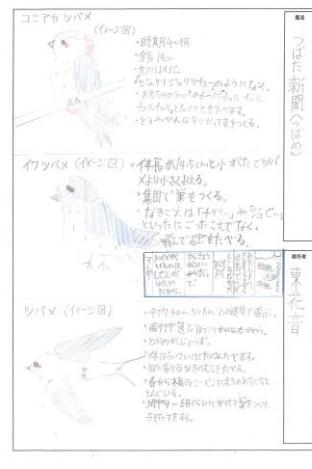
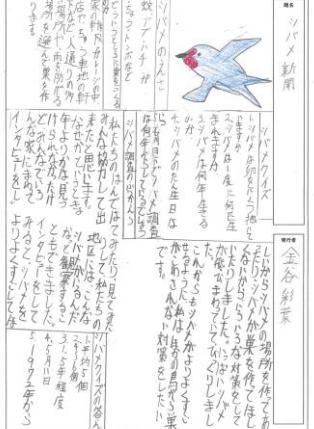
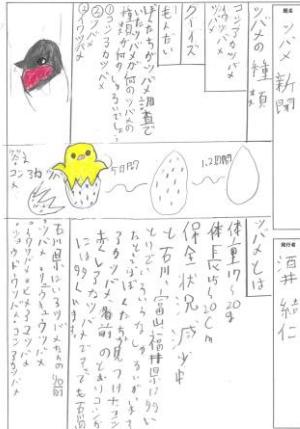
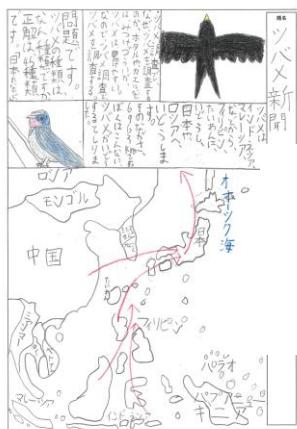


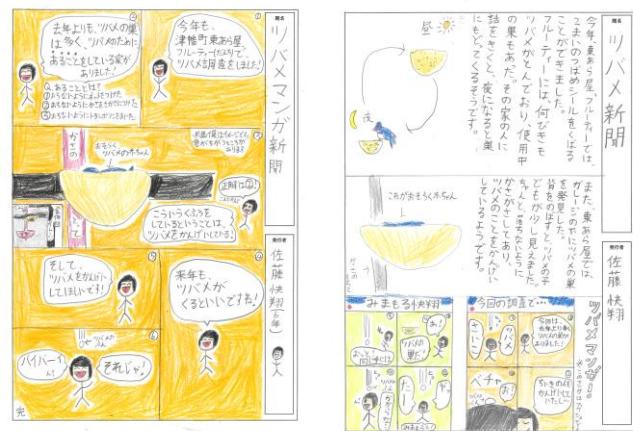
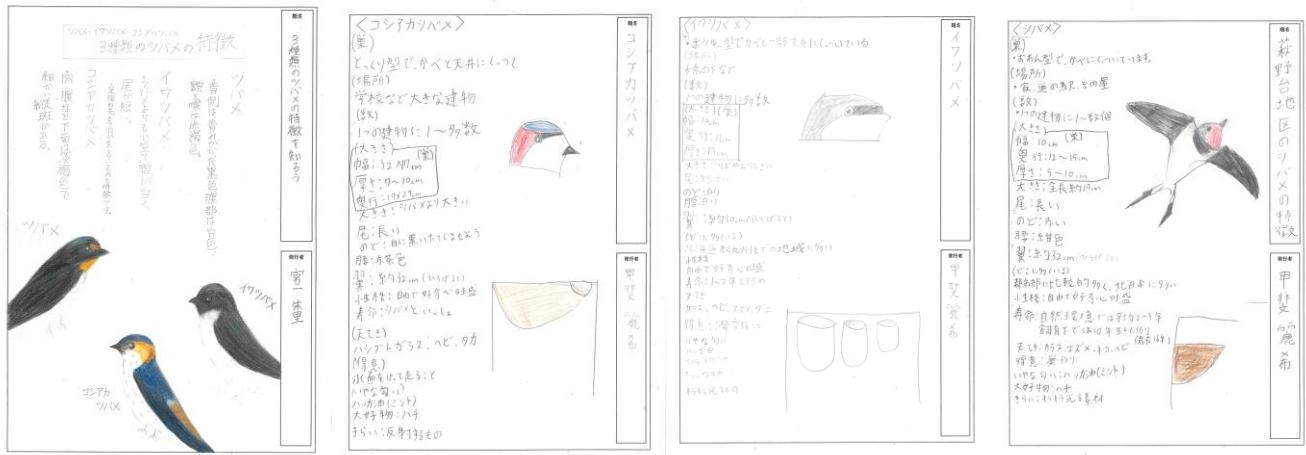
III ツバメ調査員の作品等

1 記録・観察作品の部

ツバメ新聞等を5校から作品を送っていただきました。ありがとうございます。

最優秀賞 津幡町立萩野台小学校 (ツバメ新聞18枚)





2 感想文の部

114校 1, 101点（調査票の一言感想も含む）の応募がありました。
ありがとうございます。

最優秀賞 1点

「ツバメ調査を実施して思ったこと」

白山市立松任小学校 6年 本多 未佳

今日、初めてツバメを探し、巣を見つけるということをしました。初めてだったので、朝から、とてもわくわくしていました。前日に、自学で、ツバメのことについて、なるべくたくさん調べましたが、やっぱり実際に、目で見て、耳で声を聞くことで、新しいことも分かりました。調査では、八ツ矢町、東1~3の広い場所を見て回りましたが、見つかったのは、たったの2ヶ所しかなくビックリしました。また、使用中の巣は2ヶ所でしたが、古巣はたくさんあったことから、だんだんと、ツバメの数自体が減ってきてているのだと感じました。地域の人によると（巣があった家の人の）「こここの近くの田んぼの土で昔は巣を作っていましたが、今は売り土地になって、巣があんまりできなくツバメも少なくなってきたます。」とおっしゃっておりました。だからツバメが減る理由の一つだなと思いました。

今回、ツバメ調査中に気づいたことは、巣は古い建物、古い家などにあることが多いことです。そのわけはおそらく“ひさし”や“出っ張り”が多いものが多いから。また、その建物の素材にも関係があると考えます。ツバメ調査を通して、ツバメが来てほしいと思いました。なぜならどんどんヒナが大きくなる様子や親鳥の大変さ、そのツバメの巣を見守っていきたいと心から思ったからです。ツバメ調査をしている時、スズメを見かけることが多くありました。だから今度から登校、下校の時、ツバメ以外の数をかぞえ、もっと生き物や自然にかかわりあっていきたいです。

優秀賞 1点

「ツバメ調査を実施して思ったこと」

かほく市立大海小学校 5年 前多 彩羽

私は、「ツバメ調査」をしてみて、おどろきました。どうしてかというと、ふだんはとんでいるツバメならよく見るけど、調べてみると巣にとまっているツバメはありませんでした。巣も古巣ばかりで今も使われている巣が少なかったです。ふだんは気にしていなかったけど、調べてみると、分かることがたくさんあると分りました。今回、私たちは初めて「ツバメ調査」をしたけど、「協力して安全に調査する」もまもれたり、ツバメも1羽だけだけどみつけられてよかったです。だけど、どうしてツバメは人が住んでいる家に巣を作つて、人が住んでいない家には巣を作らないのが不思議に思いました。なので、今後自学でツバメについて調べてみようと思いました。今回はツバメを調べたけど、私は外の鳥たちも気になったので、調べてみたいです。ふだんは見ていないことも、これからは見てみようと思えました。

3 ツバメのお宿シールの部

ツバメのお宿シールは、児童の皆さんが「ふるさとのツバメ総調査」実施中に、ツバメの巣がある家や納屋などに、その家の人の了解を得て、玄関など外から見えるところに貼ってもらい、ツバメが巣立つまで観察できるようにするものです。また、シールを貼ることによって、次年度以降の児童が調査を実施するときの目印になります。

令和7年度に使用される「ツバメのお宿シールの部」入賞者一覧

1	最優秀賞	小松市立栗津小学校	6年	高橋 千尋
2	優秀賞	野々市市立館野小学校	6年	木下 萌子
3	優秀賞	金沢市立三馬小学校	6年	浮見 鈴、高橋 陽菜子
4	佳 作	小松市立符津小学校	6年	大野 晃誠
5	佳 作	小松市立中海小学校	5年	岡山 智史
6	佳 作	金沢市立米丸小学校	6年	高橋 良汰
7	佳 作	津幡町立萩野台小学校	6年	宮一 朱里
8	佳 作	中能登町立鹿島小学校	6年	松本 聰真

応募総数117校 1,484点

学年はすべて令和7年度時点

最優秀賞を受賞した小松市立栗津小学校の高橋千尋さんの作品は、令和8年度の調査に使用するシールの図案となります。

